

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第 2530 地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/50名 出席率/66.67%

メイクアップ/25名 修正/75名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



記録的熱暑の中、先日クラブ・ゴルフコンペが民報コースで開催されました。のちほど菅野和宏ゴルフ部会長より熱戦の結果を発表していただきます。

ゴルフコンペの昼食時間にテレビを見ると高校野球決勝戦、聖光学院と福島商業が確か4対2で聖光学院リード、いい勝負になるなと思いきや、結局は皆さんご存知の通り聖光学院の圧勝、12年連続甲子園出場、福島商業に勝たせたいという思いも見事打ち砕かれました。今回また聖光学院の名入りタオルが1枚増えますね。

今週の土曜日、福島花火大会が私の自宅前で開催されます。猛暑の中での開催ですので見物される方は熱中症にご注意ください。熱中症かなと思われた方は私の家までおい

てください、熱中症対策の冷たいビールを準備しておりますので。

次回の例会は家族納涼会となっております。屋台村を貸し切って開催しますので大勢の皆様参加をお待ちしております。東京麹町RCからは新保会長・浅野姉妹クラブ担当・佐藤茂副会長・地引ロータリー財団委員長の4名がお見えになります。親睦活動委員会の皆様にはお世話になります。

2017-2018年度決算報告

佐久間 功 前年度会計監事



7月9日(月)福島南ロータリークラブ事務所にて私と菅原節子会計幹事、会計の邊見会員、横山りつ子直前会長・鈴木光一前幹事立会いのもと、監査を実施した結果、適正な決算報告であった事をご報告します。

第1回ゴルフコンペ報告

菅野 和宏 ゴルフ部会長



第一回ゴルフコンペ並びに総会が7月22日(日)に執り行われまして優勝は橋脇英行会員、準優勝が鈴木恒昭会員でした。その後総会が行われ懇親会とあわせて大変楽しい時間をすごしました。また、部会の新会員として、鈴木洋子会員にまた、本日付けで2名の方に入会頂きました。

ゲストスピーチ リングイスト語学スクール 代表 サインバン・オドバヤル 様



愛称：オディ 1992年モンゴルのウランバートル出身
福島市在住 2010年日本の留学試験を受験され、数学の点数が当年世界一位を記録
翌年に福島大学に入学し、全日本学生英語スピーチ大会で2位
英語、モンゴル語、日本語、中国語、フランス語、ロシア語を自在に操る秀才である
2015年に福島大学大学院へ進み、2017年に米山記念奨学生になっております
現在はFMボコのラジオパーソナリティ、ミスユニバース福島オフィシャルトレーナー、
リングイスト語学スクールを設立後代表を務めている

初めましてオディと呼んで下さい、オディとはモンゴル語で星という意味になります。
生まれた年が1992年で、ソビエト崩壊後モンゴルで革命が起こった年です。社会主義から資本主義に変わり経済がリセットされ、ものすごく貧乏になった時期があります。私以外でも町の中にはホームレスが多く、マンホールチルドレンがちらほら歩いている様子でした。

私の家は母子家庭だったので大変な家庭でありましたが、幸いにもモンゴルにある唯一のスタジアムの隣に住んでいたため、5歳からイベントがあるたびに家で作ったご飯を持って行き売っていました。

家族の中にロシア語の先生をしていた祖母がいました。祖母は兄と私に、4歳から勉強を教え始め、5～6歳には外国語を前面に教えていました。祖母のおかげで、学ぶことが大好きになり、外国語が大好きになりました。

母は海外で働いて仕送りをした方が収入が多くなるということで家から居なくなり、私はほぼ祖母に育てられました。このような経験から、『家族を幸せにしたい』という思いがあり、先進国に留学して経営学を学び、そこから起業の方がよいと考えました。

日本に行けば人間力が身に付くと考えて、日本への留学を決めました。モンゴルから日本への留学はかなりの努力が必要でしたが、いつも家族が隣で支えてくれたので、どんなハードルでも越えなくてはならない状況でした。

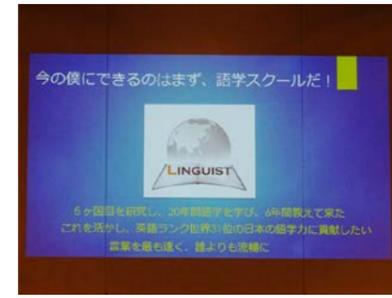
留学の際には日本人にとってもお世話になったので、そこで新たな夢が芽生えました。『家族の幸せ』の次に自分を育ててくれた、福島・日本に対し自分の出来る事で恩返しをしたいという事です。また、世界で貧困に苦しんでいる人たちも助けたいと思うようになりました。

当時の僕には言語しか強みが無かったので、その強みを生かして日本の語学力に貢献出来たらよいと思い、語学スクールを設立しました。語学スクールを設立することは祖母の夢でもありましたので、自分の夢と祖母の夢を掛け合わせて設立しました。

学習の方法が100年前と変わっておらず、そこに大きな問題を感じ改革が必要だと思っていたので、今までの語学の経験や研究等と重ねて、まったく新しい世の中に存在しなかった語学スクールにする事にしました。

これからの展望は、福島の中で色々な所とコラボしながらこの町の語学力に貢献していきたい。

語学スクールだけでは目標に到底たどり着けないので、多くの方々の力を借りて、語学学習を世の中に広めて行きたいと思っております。



クラブ協議会 (1) 各委員会活動計画発表 (前回の続き)



出席委員会 植木副委員長

ロータリー活動の目的でもありますが奉仕の理想を育むためには、会員の出席無くして実行はありません。出席は、ロータリーの三大義務の一つでもあります。出席することにより会員同士の友愛を広め、クラブの活性化にも繋がります。日々多忙なこととは思いますが、会員皆様方のご協力よろしくお願い申し上げます。



スマイルBOX委員会 渡邊副委員長

目標は予算通り200万円となりました。今期は例会の回数が通常よりも5回ほど減少しており厳しい目標になっていきます。集まったお金はクラブの各奉仕委員会の活動の他、災害等の支援基金としても活用されます。この目標は最低目標として200万円超を目指して委員全員が意識をもって活動いたします。1年間、たくさんのスマイルを宜しくお願いします。

クラブ協議会 (2) 各委員会活動計画発表



奉仕プロジェクト管理委員会 松崎 委員長

管理委員会が所掌する6つの委員会は、ロータリーの奉仕活動の根幹をなすものです。管理委員会として、それぞれの委員会の独自性を尊重するとともに、必要に応じて各委員会の連携が図れるようにサポートしていきます。



職業奉仕委員会 高橋副委員長

職業奉仕の理念は「最も奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーで表現されています。一般的に奉仕活動の受益者はロータリアン以外の人々ですが、職業奉仕の受益者はロータリアン自身であります。職業奉仕を実践するには、高い職業倫理に基づく、顧客の満足度を最優先にした事業経営が求められます。それぞれの職業を通して、社会に奉仕する活動をしていきましょう。



社会奉仕委員会 菊地 委員長

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」皆様ご存知のロータリークラブの奉仕の精神にある言葉です。社会奉仕委員会では単なる心構えとしてではなく、実践、行動することが自分達にとって最大の勉強かつ収穫であると考えます。それぞれの役割を担当制とし、会員の皆様にも楽しんで活動に参加頂ける様工夫して参りたいと思います。



国際奉仕委員会 渡辺 委員長

国際奉仕の役割は世界社会奉仕、他国の人々を助けること、そして交流を図ることにあります。活動計画は次の通りです。
1. 海外のロータリアンとの国際親善
2. モンゴル国際親善旅行の実施
3. ハンブルグ国際大会参加者募集 4. 海外災害への支援
5. ポリオ撲滅運動への理解と協力 6. エコキャップ回収活動

クラブ協議会（2） 各委員会活動計画発表 （表面からの続き）



青少年奉仕委員会 海老根 委員長
 青少年達が指導力養成活動や、社会奉仕及び国際奉仕プロジェクト、そして世界平和と異文化を理解するプログラムに参加する等様々な活動を体験することで、その育成を促し、資質を高め、またその青少年達が将来ロータリアンとなれる様、努めて参ります。

IAC提唱クラブとして全会員の意識の向上と青少年奉仕活動について理解を深めてもらう為、積極的にIAC例会や奉仕活動への参加を呼びかけて参ります。

1. 福島成蹊高校 IACへの取り組み
2. 年次大会、リーダー研修会、国際理解研修等のIAC地区年間行事への参加と報告
3. 喜多方桐桜高校 IACとの交流会の実施
4. 福島中央ローターアクトクラブの福島中央RCと共同提唱
5. 社会奉仕委員会との共同奉仕活動への参加



ロータリー財団委員会 松崎 委員長
 ロータリー財団委員会では、前年度のクラブフォーラムで纏められた補助金を利用した奉仕活動のあり方についての意見を踏まえて、地区財団補助金、特にグローバル補助金の有効活用について検討するとともに、以下の目標とポリオプラス基金寄付のための企画を実施します。

1. 年次基金は150ドル/一人を目標とする
 ポリオプラス基金は50ドル/一人を目標とする。
2. 恒久基金ベネファクター（1000ドル）への挑戦
3. 世界ポリオデーに合わせて、会員の方々へポリオの理解を深めて頂くための企画を実施します。ポリオプラス基金への寄付と公共イメージの向上を目的に、広報用のクリアファイルを作成し、安価にて会員に提供することでその収益金をポリオプラス基金への寄付をします。



米山記念奨学会委員会 鈴木 委員長
 米山記念奨学会委員会は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業を理解し、国際奨学事業としては民間最大であること、顔の見える交流を大切に世話クラブやカウンセラー制度でロータリー精神を学び支援を受けた奨学生はロータリーとの交流を大切にする姿勢が求められること、米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っていることから、その資金となる寄付金のご協力をお願いいたします。

日本にいる外国人留学生を支援することは、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。今年度、当クラブに奨学生は不在ですが、過去に世話クラブとして14名の奨学生を受け入れていた実績をもとに活動します。



戦略計画委員会 横山 委員長
 国際ロータリーは2010年に3つの優先項目を柱とする戦略計画を採用しました。戦略計画とはロータリーは単年制の組織である為、方向性や目標を一貫する持続可能で達成可能な計画立案をすることです。

これまで築いた長年の伝統と実績を誇りとする当クラブは、長期的な視野で未来に向けて発展するために下記の3つの戦略的優先項目を柱とした活動を行います。

それには創立50周年記念事業前の重要な年度でもあり、国際ロータリー パリー・ランソン会長テーマ「インスピレーションになろう」平井義郎ガバナー方針「価値観を行動に」吉田和義会長目標の「例会をたのしもう」を踏まえ、クラブ協議会を開催し会員の意見を集約した上で、楽しく活気に満ちたクラブづくりで目標達成のための総合的、長期的な計画を構築します。

— 理事会情報 — 第1回臨時 H30年7月18日 11:46～ 於サンパレス

1. 審議事項
 - (1) 西日本豪雨被災地支援について
 地区から要請のあった一人当たり2,000円以上の臨時災害特別基金について審議を行った。結果、当クラブの会員数は75名であるので合計150,000円を要請通りガバナー事務所へ送金する。さらに、被害の大きかった3地区（第2670地区、第2690地区、第2710地区）については当クラブ独自の支援を今後検討していくことが全会一致で承認された。
 - (2) その他
 福島南ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会の菅原節子実行委員長より実行委員会の組織が発表され、全会一致で承認された。全会員に対しては8月の第2回例会にて発表することとした。
1. その他
 横山りつ子ロータリー情報委員会委員長より喜多方IAC交流会の内容の詳細を知りたいとの要請があり、海老根潤青少年奉仕委員長から喜多方桐桜高等学校IACと福島成蹊高等学校IACの共同事業として老人施設清掃活動を体験し、2時間程度の交流体験の発表などを行う予定である旨説明があった。

— 8月1日(水)の例会プログラム —

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘 | 8. スマイリングBOXの報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 9. 参加ファミリーの紹介 |
| 3. ロータリーソング | 10. 閉会点鐘 |
| 4. 四つのテスト唱和 | |
| 5. 来訪者紹介と会長挨拶 | ※例会終了後移動前に |
| 6. 東京麹町RC会長挨拶 | 親睦活動委員会より |
| 7. 誕生日のお祝い | 連絡事項の発表 |

— 今後のプログラム —

- ・8月8日(水)ゲストスピーチ（齋藤美幸氏）
 - ・8月22日(水)新会員スピーチ（菅野和江会員）
 （齋藤弘之会員）
- IAC年次大会報告・IAC喜多方交流会報告

— 地区情報・第一分区・関連情報 —

- ・8月10日(金) 県北第一分区会長・幹事会
- ・8月25日(土) 会員増強セミナー
- ・8月26日(日) 米山記念奨学会委員会セミナー